

実務経験者から大規模土砂災害対応について学ぶ

～近畿河川技術伝承会 講演会～

- 近畿河川技術伝承会より講師をお招きし『大規模土砂災害対応について』と題した講演会を開催しました。
- 紀伊半島大水害を中心に、新潟県中越地震や台湾・南米での事例など国内外で過去に発生した大規模土砂災害における対応経験をもとに、河道閉塞時の調査・監視計画、住民の避難対応、マスコミ対応などについてご講演いただきました。若手職員や大規模災害を経験していない職員、砂防分野に関心を有する学生が参加し、大変貴重なお話を聞くことができました。

概要

日時：令和8年8月26日（水） 10：00～11：30

場所：六甲砂防事務所（視聴覚室）

参加者：六甲砂防事務所職員（17名）、キャンプ砂防2026参加学生（5名） 計22名



講演の様子（参加者22名）



質疑応答の様子

～質疑応答～

Q：経験が少ない職員は、大規模土砂災害に備えてどのような準備や検討が必要でしょうか？

A：普段から地域連携の強化（地域の状況把握）や、市町村との定期的な意見交換会を実施し、危険箇所などを共有し、合同で現地確認を行うことなど準備しておくべきである。また危険箇所へのアクセスルートの確認も重要である。設計業者、測量業者、点検業者などとも連携し、有事の際に道が分からないなどないようにしておいた方がよい。またドローンを使った調査も実施されると思うので、離発着場所についても事前に検討しておくとうい。

～近畿河川技術伝承会～

近畿地方整備局に在職経験のある河川技術者が、これまでに培った技術や経験を、現職の整備局職員や関係機関に継承することを目的として結成された会

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局 六甲砂防事務所 調査課
〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15

TEL：078-851-0535

六甲砂防事務所HP <https://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/>

